



まちさぽ

平成 26 年 4 月 23 日 No.31

編集・発行 東久留米まちづくりサポートセンター
桑原 042-476-1515 hkmachisapo@gmail.com



春号のラインナップ

- くるめボランティア・市民活動フェスタ
- まちづくり学習会（2月1日、15日）
- つながりサロン
- お知らせ（全体会、運営委員募集、まちさぽサロン）



くるめボランティア・市民活動フェスタ



天上から眺める東久留米

春の気配を感じる3月1日、ボランティア市民活動フェスタに、恒例の「ロコミお気に入りMAP」で参加しました。外は小雨ながらも、会場内は様々な出店に、次々と演奏会などもあり、賑やかな雰囲気。人通りのある樹木の下、いつもの巨大地図の前で老いも若きもああだこうだ、なんだかんだと立ち話でまち

談義が始まります。

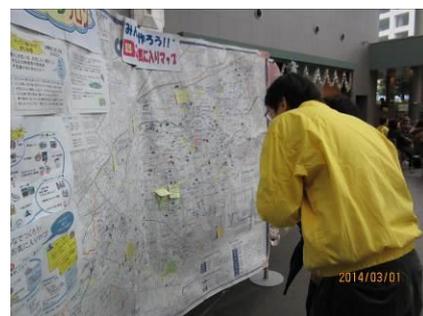
背丈を超えるほどの地図の前だと、初めて会った方でも不思議と話が弾みます。やっぱりここで生活しているだけあって、2次元平面に書かれた横丁、川辺から時空を超えて、生き生きとした体験がよみがえり、イメージが膨らむようです。話が止まらないことも度々で、こちらも、それでそれから？、何で何で？と訊いてしまいます。

とある年配の方は、「こんな穴場のいいところはない」と絶賛。聞けば、震災を機に、地図や資料で念入りに調べて都心から駅前マンションに引っ越してきたとのこと。「駅に市役所、郵便局、スポーツセンターがすぐ近くで、おまけに富士山が眺められる。何より窓の外の中からこどもの声が聞こえて来るのがいい」と。

信州から越してきたおばあちゃんの話。愛着ある地元へ貢献したいと、大好きなおじいさんの遺言もあって土地・家屋を信州に寄付、そして今は落合川近くに住む娘さんのところに移り住み、幸せと語っていました。

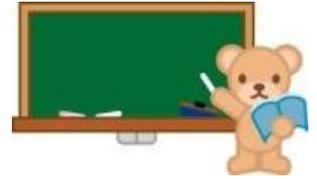
一枚の地図をきっかけに浮かぶいくつものドラマ。さわりの話でもここに住み、暮らす中での様々な思い、人生を感じ、眺められます。きっと、あのおじいちゃんも信州や東久留米を天上から見守ってるかと。

（マッププロジェクト担当 板垣 雅史）





まちさぼ学習会



★まちさぼと市の共催事業★

まちさぼでは2/1、2/15の2日間「まちづくり学習会」を開きました。

まちさぼは、平成15年11月より平成18年3月までの「まちさぼの設立へ向けての準備会」において、延べ数千人の市民の皆様の議論の中より市民の後押しの下、平成18年4月に設立致しました。

まちさぼは準備会での設立主旨である「市民と市の協働によるまちづくりを」を進めることを目的に、今日まで運営委員会を中心に活動してまいりました。ここまで8年が過ぎ、現状のまちの環境、市民の意向の変化、運営に関する蓄積された経験等を踏まえてこのまちでのまちづくりのありようを市民の皆様と運営委員の皆様で再考しようと学習会を開きました。

【1日目】

講演 「住みやすいまちづくり、私たちにできることを考えよう」

講師 福永順彦氏（烏山ネット・わあ〜く・ショップ 世話人）

講師より烏山ネットの立ち上げの経緯と実際の活動に至るまでの経過と活動内容をご報告して頂きました。その中でいい話

「烏山ネット・わあ〜く・ショップ」でのゆるやかな(暗黙)協定

1. 行政への要望・要求の場としない。
2. それぞれの立場で前向きに知恵を出し合う。
3. 言いだしっぺが中心となって進める。
4. 自分たちでできる範囲の活動とする。

これはまちづくりの原点でありお話を聞いて肩の力が抜ける思いでした。



【2日目】

1日目をふりかえり参加者の皆様で意見交換「まちの課題を出し合い、課題解決に必要な事を考える」

講師 朝比奈ゆり氏（東京ボランティア・市民活動センター専門委員）

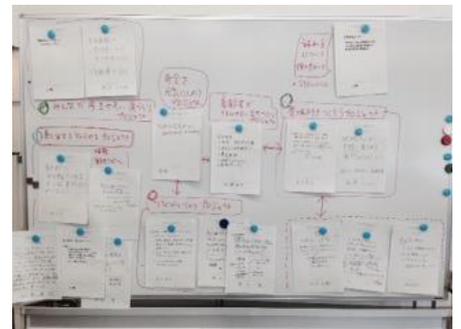
講師のアドバイスで参加者から出されたまちの課題を大きく3つに分け、この3つの課題ごとにテーブルを設け課題の確認、課題解決に必要な事を参加者で議論して頂きました。そして各テーブルごとにまとめた内容を発表して頂きました。

●3つの課題

1. 生活道路の安全について
2. つながりづくり「居場所と情報拠点づくり」
3. 東久留米を知らせるプロジェクト



多くの課題が出されましたが時間の都合上この3点に絞って議論しました。



この学習会で出された課題は今後「まちさぼサロン」にて引き続き検討します。そして多くの市民に呼びかける場としても「まちさぼサロン」を用意しています。ご興味のある方はまちさぼへご一報を頂ければ幸いです。

今回の学習会を企画して、今もなおまちづくりへの市民の思いは強いものがあると感じました。

「私たちの住みよいまちは私たちがつくる」その為に「だれもが参加できる場」の必要性が再度認識されたと思います。

まちさぼではまちづくりに「だれもが参加できる場」として1回/月（第3土曜日の午後、会場は男女平等推進センター）で「まちさぼサロン」を開催しております。（まちさぼサロンは出会いの場であり、つながりの場でもあります）

このまちへの思いをお持ちの皆様、一度サロンに参加してみませんか。まちさぼはお待ちしております。

（学習会担当 桑原 芳夫）

つながりサロン (3月15日(土) スペース105にて)

今年度最後のつながりサロンは、まさに出会いとつながりの場として盛り上がりました。

参加者からは「東久留米の個人や団体の方々をつなぐコミュニティサイト《くるめアパートメント》を立ち上げました。個々の活動やアイデアをシェアし、助け合える場を目指していますので、どんどん活用してください!」「かつては地域サロンとして開かれていて現在は自治会の懇親会などで利用できる《山野草》に見学に行ってみませんか」「みんなでつくろう!! ロコミ・お気に入りマップ」はサロンから独立させて本格的にプロジェクト化しましょう」などの提案が続々。2月の「まちづくり学習会」でのワークショップの報告もありました。最後は「東久留米の地粉を見つけたのでパンケーキを作ってきました」と美味しい差し入れや《山野草》で頂いた夏みかんのお土産もあり、資源あふれる東久留米を堪能したサロンでした。

こうして2013年度は、前年度の「東久留米つながり活力まちづくり協議会」における「つながり隊」の活動の受け皿的な市民のつながりの場として開催してきた「つながりサロン」ですが、今年度4月からは、まちを歩いて課題発見と共有をしてきた「ぶらりサロン」(現在は地域センター・地区センター等の居場所機能活性化を検討)と統合し、「まちさぼサロン」として更なる市民の出会いとつながりの場を開いていきます。「まちさぼサロン」の主役は市民ひとりひとり。皆で楽しいサロンにしていきたいと思います。

(つながりサロン担当 田中 直子)



お知らせ



【全体会のお知らせ】

まちさぼは市民と市民をつなげ、市民と行政による協働のまちづくりを進めることを目的として活動しています。

まちさぼの具体的な活動等を報告し、ご意見を頂く場として全体会を開催いたしますので、ぜひご参加ください。

日 時：平成26年5月10日(土)

午後1時30分~3時

会 場：男女平等推進センター

※申込み不要、直接会場へお越しください。

内 容：・H25年度事業報告と会計報告
・H26年度事業計画と予算について
・懇談

【まちさぼサロンのお知らせ】

4月より「つながりサロン」と「ぶらりサロン」を統合し、「まちさぼサロン」として開催していきます。まちづくりに関心のある方、ぜひご参加ください。

毎月第3土曜日 於：男女平等推進センター

*詳しくは「まちさぼ」「くるくるチャンネル」で!

【運営委員募集】

まちさぼは、市民と市民、市民と行政の架け橋となれるよう日々活動しています。

<まちさぼの趣旨>

市民と行政とのパートナーシップにもとづく協働のまちづくりを進めていくため、多くの市民のみなさんといっしょに、地域の共通の課題をもった人たちをつなげ、課題解決の道への支援、情報の集約や地域の人材の発掘を行い、まちさぼサロンを通じてまちづくりに取り組む市民の交流を促進します。

まちづくりに関心のある方で、積極的に参加できる方を随時募集しています。興味のある方は下記連絡先にご連絡ください。

連絡先：473-3236 (森戸)

メール：hkmachisapo@gmail.com



皆様からのご応募心よりお待ちしております!!